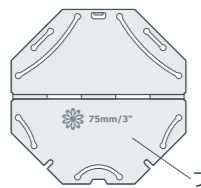


つまみ細工プレート  
剣ひだつまみ



作り方説明書



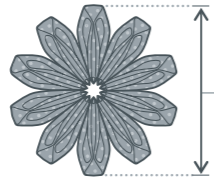
この説明書は、  
57-464 <剣ひだつまみ S>  
57-465 <剣ひだつまみ L> 共通です。  
※ イラストは、<剣ひだつまみ L> で  
説明しています

プレート

はじめに...

1枚の布から花びら1枚が作れます。花びらを数枚縫いつなぐと、お花ができあがります。お好みで花びらの数を調節してください。

お花



<S> 約 5cm  
<L> 約 7.5cm

※ 使用する布や作る花びらの枚数によって変わります。

花びら

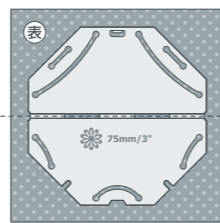


① プレートに布地をはさみ、カットします。

① プレートを布地にかさね、折り込みます。

布の用尺  
<S> 約 7cm角  
<L> 約 9.5cm角

※ 布地にしわがよらないように気を付けます。



② プレートの端の突起部で布地をはさみ、固定します。

プレートの端の突起

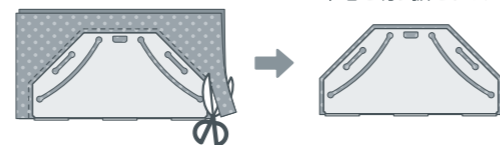
※ 布地によっては、プレートが開いてくる場合があります。その場合は、手で押さえながら使います。

プレートの奥までしっかり布をはさみます

③ プレートに沿って、布地を切り抜きます。

※ ぬいしろは必要ありません。

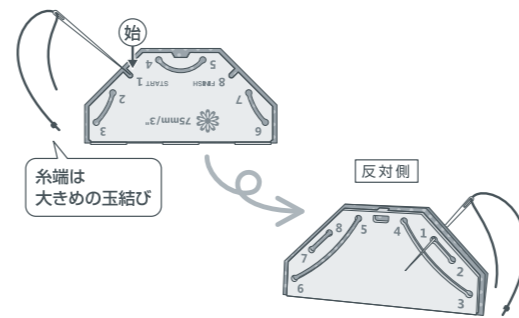
布地を切り抜きました。



② プレートの番号順に、長穴に糸を通します。

① 裏返して「1 START」位置の穴に針を入れ、反対側の長穴の「1」位置に針を出します。

糸の長さ <S> 約60cm / <L> 約70cm



② 同じ長穴の「2」位置に針を入れ、糸がたるまないように引きます。

※ 糸を引きしめすぎて、プレートにはさんだ布をずらさないようご注意ください。

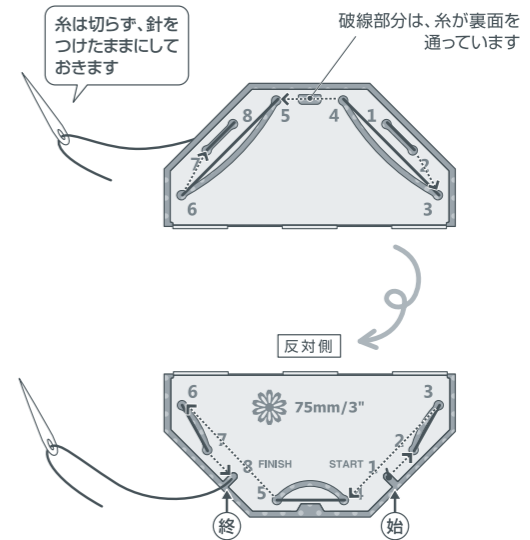
注意!

糸がたるんでいると、糸がからまる原因になります。



③ 続けて、番号順に長穴に糸を通していきます。

※ 順番を間違えた場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。



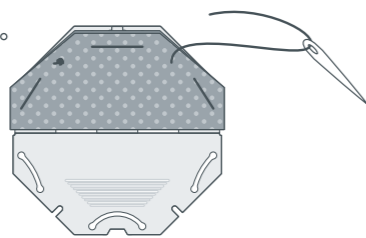
☑ チェックポイント

縫い目は長穴の内側を通ります。

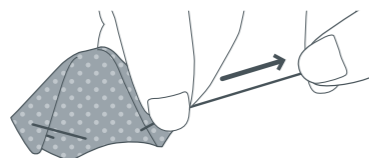
縫い目がプレートをまたいで、別の長穴に通っている場合は間違いです。

③ プレートをはずし、花びらの形を整えます。

① プレートをはずします。

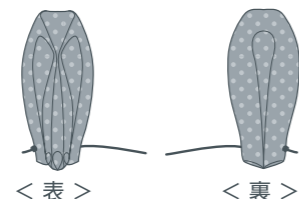


② 糸を引きしめます。



③ 花びらの形を整えます。

花びらのできあがりです。

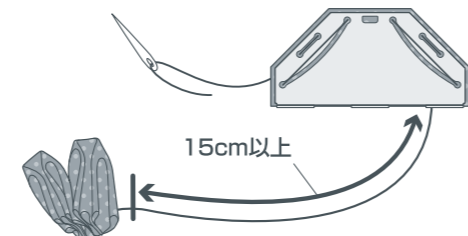


玉結びが左にくる方が表です

④ 続けて花びらを作り、お花を作ります。

① 同じ糸を使って、①～③をくりかえし、必要な数の花びらを作ります。

糸がからまらないように、できあがった花びらとプレートを15cm以上離します。



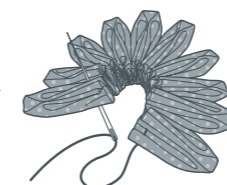
※ 糸がからまった場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。

糸が途中で足りなくなったら...

糸が途中で足りなくなった場合は、糸を引きしめて玉止めをします。最後に作った花びらの根元に新しい糸を通し、続けて花びらを作ります。



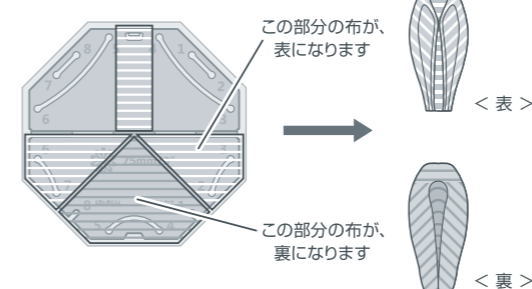
② 最初の花びらの根元に針を通し、糸を引きしめ、玉止めをします。



中心にボタン等をつけたり、花びらの数を変えてアレンジできます。

ボタンをつけたり 花びらの数を変えたり

柄合わせをしたい場合



準備する材料 (10枚の花びらのお花を作る場合)

<規格>	<S>	<L>
花びら1枚分の布の用尺 × 花びらの枚数(10枚)	約 7cm角 × 10枚	約 9.5cm角 × 10枚
糸の長さ ※ キルト糸などの丈夫な手ぬい糸	約 60cm	約 70cm

○ 適する布  
薄地～普通地のやわらかい布  
シーチング、ブロード、サテン、ちりめん、オーガンジー、シフォン、薄地ウール など

✕ 適さない布  
中厚～厚地、硬い布、目の粗い布  
デニム、キャンバス、フェルト、厚地ウール、コーデュロイ、パイル、ニット地、皮革及び合成皮革、コーティング加工布、レース など

使用上の注意  
・ 本体は高温により変形しますので、アイロンなどのご使用はお避けください。  
・ 過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となりますので、厚地や硬い布地のご使用はお避けください。  
・ 長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管してください。